

編集後記：私の職場は茨城県つくば市にあります。自宅もつくばの郊外です。初めてつくばで冬を越した年、その寒さに驚きました。つくばよりも遙かに寒い地域なんて幾らでもあるのですが、私は寒いのが本当に嫌いなんです。つくばに引っ越してくる前は大阪・名古屋・東京で暮らしてきましたが、つくばの冬はそれらの何処よりも寒いような気がしています。今年の冬も例年どおりつくばは寒いです（←あくまで個人的感想）。そこでふと、どれくらい寒いのか調べてみたくなりました。データで見れば、本当はそれほど寒くないのかもしれないし…（←あくまで個人的願望）。ちなみにつくばの次に寒かったのは名古屋のような気がします。

今は便利な時代になりまして、過去の気象データは気象庁のホームページで簡単に検索できます。では、つくば（館野）・東京・名古屋・大阪の1月の平年値（1981～2010年）を並べてみましょう。[つくば：平均気温2.7℃、日最低気温（月平均）-3.2℃] [東京：平均気温5.2℃、日最低気温（月平均）0.9℃] [名古屋：平均気温4.5℃、日最低気温（月平均）0.8℃] [大阪：平均気温6.0℃、日最低気温（月平均）2.8℃]

…やっぱりつくばが断トツで寒かったです。気のせいじゃありませんでした…。そういえば大阪は気温が氷点下になるなんてこと滅多に無かったなあ（←遠い

目で空を眺める）。名古屋が東京や大阪よりも寒かった、という記憶も当たっていました。ところで気象庁のホームページでは年ごとの平均・最高・最低気温も過去に遡って眺めることができます。つくば（館野）の場合は1921年からデータがあります。そして、興味深いことに気付きました。年ごとの最低気温が戦前では軒並み-10℃以下で、-13℃や-14℃の年も珍しくありません。この傾向は1980年代前半まで続きます。しかし、最近10年間の年最低気温はせいぜい-6～-8℃程度です。研究学園都市が建設されたことによるヒートアイランド現象なののでしょうか。ああ、-6℃くらいで寒い寒いと大騒ぎしてごめんなさい。昔の人は-14℃にも耐えていました。

このようなデータ検索ができるのも、気象観測が長く継続され、データが大切に保存されてきたおかげです。先人の努力に感謝です。故きを温ね新しきを知る、の言葉どおり気象学では長期にわたる過去データの積み重ねが非常に重要だと思います。折しも、日本気象学会では気象学史研究連絡会というものが発足したそうです。科学史的な内容だけでなく気象データの発掘・記録・後世への伝達も活動の対象とするそうで興味深いです。年2回の大会に合わせて会合を開くそうなので、私も参加してみたいと思います。

（関山 剛）